



11/10 (日) 下諏訪の良さが一目でわかるようにと制作
下諏訪町アピール看板お披露目会

下諏訪社中学校美術部の生徒によって制作された「町のアピール看板」のお披露目会が行われました。看板は元々、医王渡橋横に設置されていましたが、平成初期の設置から約30年が経過していたことで老朽化が進んでいました。

そこで、町の魅力を盛り込んだ看板にしたいという生徒の思いから、町の下諏訪力創造チャレンジ事業を活用し、デザインの工夫、観光名所での取材を重ね、地域の方々とも協力しながら、四季をイメージした看板を完成させました。

11/28 (木) 台風19号災害派遣職員帰庁報告会

10月の台風19号で大きな被害に遭った佐久市へ派遣された建設水道課職員3名の、現地での支援活動報告が行われました。

派遣された職員は、11月中に各3日間技術職として市職員や全国から派遣された職員と協力して農地や林道の調査、測量に携わりました。

職員は、「災害から1ヵ月が経っているが、全体像がまだつかめておらず、職員も足りていないため復興には相当な長い時間がかかりそう」等と町長へ報告しました。



第19回 **ふるさとCM大賞 NAGANO**

**南小6年2組
優秀賞
2年連続おめでとう！**

★優秀賞の盾★
2019年 2018年



受賞インタビューでは大賞をとれず悔しい想いがありながらも、クラス一丸となって取り組んできた作品が受賞した嬉しさについて、堂々とコメントしていました。

令和元年12月1日(日)、南小6年2組は、昨年に引き続き、ふるさとCM大賞NAGANOの最終審査会に参加しました。県内の応募作品全79作品の中から、南小6年2組の作品を含む20作品が最終審査に選ばれ、最終審査会場のホクト文化ホールステージでそれぞれの作品をアピールしました。

南小6年2組は、全20作品中、トップバッターでの発表でしたが、テーマである中山道の魅力について、迫力のある元気な歌声、組体操やダンス等を披露し、会場をあっという間に驚かせました。結果は最優秀賞に次ぐ、「優秀賞(長野県町村会会長賞)」で、2年連続の受賞となりました。作成したCMは、長野朝日放送で、年間30回放映されます。

